

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「米国リート・プレミアムファンド（年2回決算型）マネープール・コース」は、2019年7月22日に第13期決算を行いました。

当ファンドは「T&Dマネープールマザーファンド」を通じて、わが国の公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**米国リート・プレミアムファンド
（年2回決算型）
マネープール・コース**

商品分類（追加型投信／国内／債券）

第13期（決算日 2019年7月22日）

作成対象期間：2019年1月22日～2019年7月22日

| 第13期末（2019年7月22日） | |
|-------------------|---------|
| 基準価額 | 9,989円 |
| 純資産総額 | 0.09百万円 |
| 第13期 | |
| 騰落率 | △0.0% |
| 分配金合計 | 0円 |

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

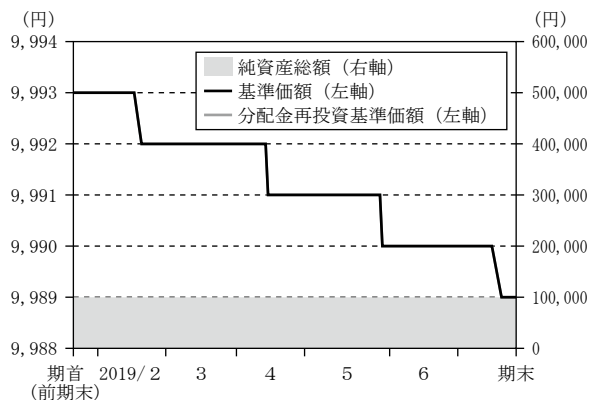
投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<https://www.tdasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移



第13期首：9,993円
 第13期末：9,989円 (既払分配金 0円)
 騰落率：△0.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、期首 (2019年1月21日) の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
 (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

主に「T&Dマネープールマザーファンド」へ投資した結果、マザーファンドの基準価額の変動の影響から、小幅な下落となりました。

■ 組入ファンドの当期中の騰落率

| 組入ファンド | 騰落率 |
|------------------|-------|
| T&Dマネープールマザーファンド | △0.0% |

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|-----------|---------------------|---------|---|
| | 2019/1/22～2019/7/22 | | |
| | 金額 | 比率 | |
| 平均基準価額 | 9,991円 | | 期中の平均基準価額です。 |
| (a) 信託報酬 | 0円 | 0.001% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投信会社) | (0) | (0.000) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販売会社) | (0) | (0.000) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| (受託会社) | (0) | (0.000) | 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 | 0 | 0.001 | (b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| (その他) | (0) | (0.001) | その他は、金銭信託に係る手数料 |
| 合計 | 0 | 0.002 | |

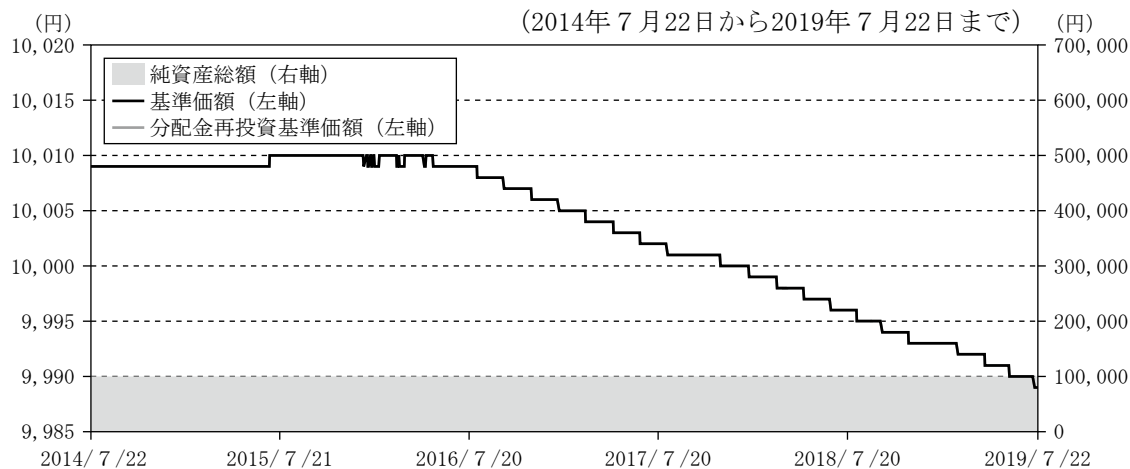
(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごと小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2014年7月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

| | 2014年7月22日 期初 | 2015年7月21日 決算日 | 2016年7月20日 決算日 | 2017年7月20日 決算日 | 2018年7月20日 決算日 | 2019年7月22日 決算日 |
|-------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額（分配落） (円) | 10,009 | 10,010 | 10,009 | 10,002 | 9,996 | 9,989 |
| 期間分配金合計（税込み） (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率（%） | — | 0.0 | △ 0.0 | △ 0.1 | △ 0.1 | △ 0.1 |
| 純資産総額 (百万円) | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.09 | 0.09 |

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境

■ 国内短期金融市場

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.20\%$ から期末は $\Delta 0.13\%$ となりました。期中においては、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

当該投資信託のポートフォリオ

■ 当ファンド

「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象とし、同マザーファンドを高位に組入れました。

■ T&Dマネープールマザーファンド

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準等を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

| 項目 | 当期 |
|-----------|---------------------------|
| | 2019年1月22日 ～2019年7月22日 |
| 当期分配金 | 0 |
| (対基準価額比率) | — |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 10 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

■ 当ファンド

安定した収益の確保を目指して、「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象として運用を行います。

■ T&Dマネープールマザーファンド

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率は緩やかに上昇していくことが見込まれるものの、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

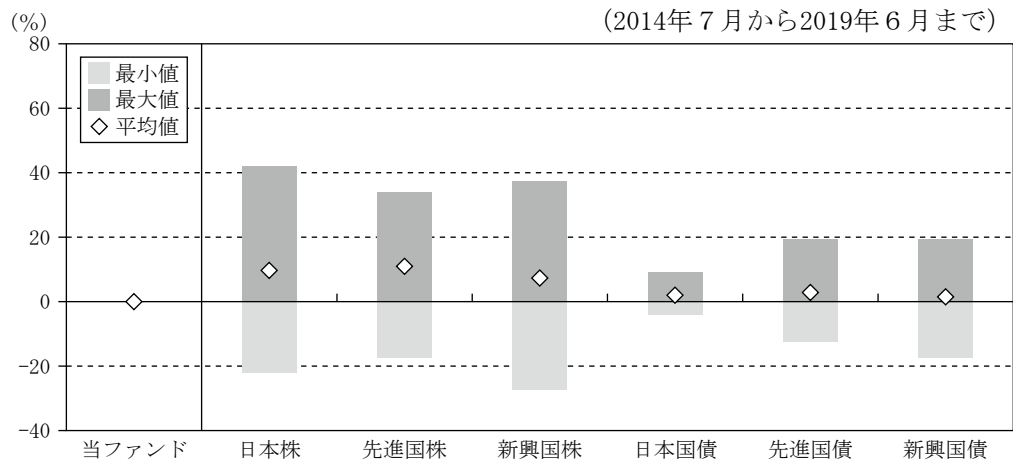
相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

当該投資信託の概要

| | | |
|-------------|---|---|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／国内／債券 | |
| 信 託 期 間 | 2012年12月20日から2020年7月21日まで | |
| 運 用 方 針 | 安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。 | |
| 主 要 運 用 対 象 | ベビーファンド | 「T&Dマネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。 |
| | マザーファンド | わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。 |
| 組 入 制 限 | ベビーファンド | 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。 |
| | マザーファンド | 株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。 |
| 分 配 方 針 | 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 | |

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 平均値 | △0.0 | 9.7 | 11.0 | 7.3 | 2.0 | 2.8 | 1.4 |
| 最大値 | 0.0 | 41.9 | 34.1 | 37.2 | 9.3 | 19.3 | 19.3 |
| 最小値 | △0.1 | △22.0 | △17.5 | △27.4 | △4.0 | △12.3 | △17.4 |

(注) 上記は、2014年7月から2019年6月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

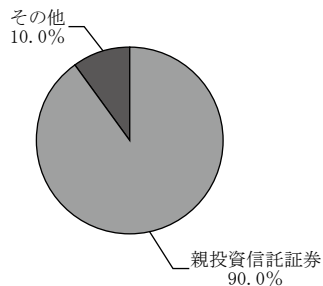
当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

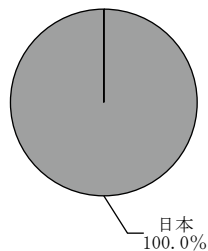
■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

| 銘柄名 | 当期末 |
|------------------|------------|
| | 2019年7月22日 |
| | 比率 |
| T&Dマネープールマザーファンド | 90.0% |
| その他 | 10.0 |

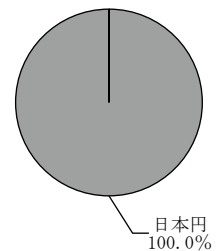
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）をご覧ください。

純資産等

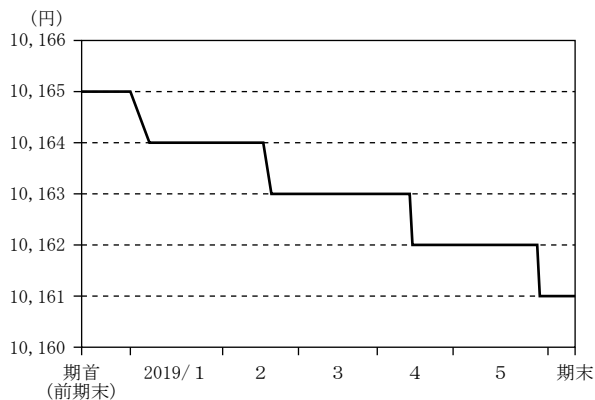
| 項目 | 当期末 |
|------------|------------|
| | 2019年7月22日 |
| 純資産総額 | 99,890円 |
| 受益権総口数 | 100,000口 |
| 1万口当たり基準価額 | 9,989円 |

(注) 期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

組入上位ファンドの概要

T & D マネープールマザーファンド (2018年12月11日から2019年6月10日まで)

■ 基準価額の推移



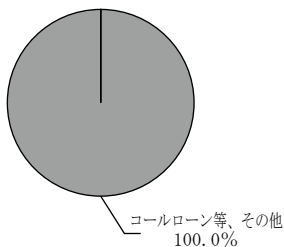
■ 組入銘柄

当期末における組入れはありません。

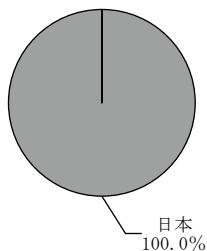
■ 1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | |
|----------------|----------------------|-------------------|
| | 2018/12/11～2019/6/10 | |
| | 金額 | 比率 |
| 平均基準価額 | 10,163円 | |
| その他費用 (その他) | 0円 (0) | 0.003% (0.003) |
| 合計 | 0 | 0.003 |

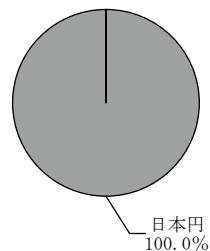
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 各配分のデータは直近の決算日現在のものです。

(注) 各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国別配分は発行国を表示しております。

(注) 1万口当たりの費用明細は直近の決算期のものです。その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPMorganGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPMorgan社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPMorgan社に帰属します。

T&D

T&D保険グループ